

水 之 上

令和4年4月6日現在 児童数78名 P戸数51戸
令和4年5月13日発行



『あなたにはこんないところがある！だからきっと伸びていく！！』

校長 花峯 哲則

令和4年度がスタートし、1か月余りが経過しました。水之上小校区の大切な『宝』でもある78名の子どもたちが、元気で健やかに本年度の学校生活を無事にご送ることができますよう、保護者の皆様や校区の皆様方には、今後とも見守りや温かい声かけ等をよろしくお願いいたします。

ところで、子どもたちを育てる時には、どんな心がけが必要でしょうか。どちらかという褒めることよりも叱ることの方が多いのが現状ではないでしょうか。**褒めること、期待することによって、そのとおりの成果を出すことができることがある**そうです。これを『ピグマリオン効果』といいます。

アメリカの教育心理学者ローゼンタールが説いた説です。ある小学校の子どもたちにテストを行い、その中から無作為に数名を選び「この子どもたちは、絶対に伸びる。」という情報を教師に伝えました。その情報を信じて、教師が子どもたちに期待を込めて指導したところ、本当にその子どもたちの成績がぐんぐんと伸びていったということです。

学校や家庭で『あなたにはこんないところがある。だからきっと伸びていく。』と応援された子どもたちほどぐんぐん伸びていったという例もあるそうです。私たち大人が、子どもたちの可能性を信じ「必ず伸びる。」と応援してあげれば、本当にそうなるということです。

反対に「あなたはだめだ。」と言われ続けていると、本当に成績が下がったり、能力が落ちてしまうこともあるそうです。これを『ゴーレム効果』といいます。「これ以上伸びないのかなあ。」「練習しても無理かもしれないなあ。」「努力しても夢はかなわないかも。」などと世の中には消極的・否定的な言葉があふれています。こんな消極的・否定的な言葉を一つかけられるだけでも、子どもたちは自信が消えてしまうかもしれません。

世の中には『ピグマリオン効果』を受けて、自分の可能性を信じて力を発揮することができた人や逆に『ゴーレム効果』で力を十分に発揮できなかった人など様々いると思います。自己が確立していない子どもたちは、自分に自信がなく、とても不安なものです。だからこそ「あなたにはいいところがたくさんあるよ。」「ここを伸ばせば必ずうまくいくよ。」などの言葉をかけてもらい、信じてもらうことで自分の可能性を信じ、自分を伸ばしていくように努力するのではないのでしょうか。

言葉一つで子どもはかわることができる信じることが大切であると思います。私たち大人が、子どもたちを肯定的に見て、自信を持たせる言葉を意識してかけるようにしていきたいものです。

1年生を迎える会

4月22日(金)に「1年生を迎える会」を行いました。5年生が司会進行を勤め、学年毎に1年生を歓迎する素敵な発表やプレゼントをすることができました。6年生は、学校行事を紹介する劇を披露しました。ユーモアあふれる6年生の演技に、会場が盛り上がりました。

6人の1年生は、一人ずつ自分の名前や好きな物等を元気よく発表することができました。



授業参観・学級PTA・PTA総会・PTA専門部会

4月25日(月)に今年度初めての授業参観、学級PTAを開催しました。新学年になったお子さんの様子はいかがだったでしょうか。

今年度は、オンラインによるPTA総会を実施させていただきました。対面式ではありませんでしたが、画面を通して保護者の皆様に協議内容等をお伝えすることができました。また、新旧役員の皆様にも御挨拶をいただくことができました。PTA総会後の専門部会では、部長・副部長の選出や年間活動計画等の話し合いをスムーズに進めていただきありがとうございました。

5月12日(木)には、今年度1回目の総務部会を開催し、今年度のPTA活動について確認しました。コロナ禍ではありますが、子どもたちのためにできることを考え、保護者の皆様の御協力のもと充実したPTA活動を実施していきたいと思っております。今年度も御協力をよろしくお願いいたします。



交通安全教室

4月15日(金)に垂水幹部派出所、市総務課安心安全係、交通安全協会の方々を講師に招き、交通安全教室を実施しました。

低学年は横断歩道の渡り方、3年生以上は自転車の乗り方について教えていただきました。コロナ禍の影響により、2年間学校独自で交通安全教室を開催していましたが、2年ぶりに講師の方に来校していただき、自転車の乗り方についても詳しく教えていただきました。

自転車点検の合い言葉：「ぶたはしゃべるか」
「ブレーキ・タイヤ・ハンドル・車体・ベル・鍵」



子どものSOSの受け止め方講演会

4月24日(日)、垂水市保健課主催の「子どものSOSの受け止め方講演会」が開催されました。昨年度、6年生に「SOSの出し方教育授業」をしてくださった「高橋 聡美」先生による講演会でした。参加された保護者の皆様もいらっしやと思います。とても分かりやすく心に響く講演会でした。少し御紹介させていただきます。

お子さんのSOSの受け止め方(受容と傾聴)
受容：オウム返し 傾聴：詳しく尋ねる
(例)子：今日はいろいろと大変だった…
親：「いろいろと大変だったの？」(オウム返し)
「何が大変だったの？」(詳しく尋ねる)
講演の最後に、高橋先生が子どもの可能性について話してくださいました。

私達が子どもたちをコントロールする限り子どもたちの未来は私達の想像を超えません。子どもたちの未来は私達の想像の外にあります。そのことを大切に子どもたちの心と命を守ってあげたいと思います。

6月 主な学校行事等の予定

6月 1日(水) 児童総会
2日(木) 耳鼻科検診
7日(火) 6年生修学旅行(～8日)
11日(土) 土曜授業日(土曜参観)

13日(月) 「元気な子」週間(～19日)
14日(火) スクールカウンセラー来校日
22日(水) 盲導犬ルートとのふれあい授業